

学部のみ

単位認定希望届兼帰国届【学生は太枠内を記入】

学籍番号	1 F 2000000	留学期間	2022 年 春 ・ 秋 から ☒ 半期 ☐ 通年 ☐ 1.5 年	
フリガナ	ワセダ ユウ	種別	☐ CS-L ☐ CS-R ☒ 交換 ☐ ダブルディグリー ☐ 私費	
氏名	早稲田 優	留学先	国名	アメリカ
			大学名称	Jacksonville University
電話	080-1234-xxxx		履修言語	英語 ・ それ以外 (語)
E メール	xxx@xxxxxxwaseda.jp		※それ以外の場合、英語科目の履修有無：有 ・ 無	
卒業予定	2023 年 3 月 9 月			

【交換・私費の場合のみ】留学期間中の学籍状態を下記の通り設定してください。(チェック欄に☑を記入してください)

☒ 全期間「留学」から「在学」に切り替える（留学期間を卒業に必要な在学年数に含める場合、こちらに☒してください）

□その他 ()

本申請書に、以下の書類を添付してください。（それぞれ確認の上、チェック欄に☑を記入すること。）

- ☒ 成績証明書
- ☒ 申請する全科目のシラバス
- ☒ 時間割（ECTS を使用していない科目の場合）
- ☒ アカデミックカレンダー（ECTS を使用していない科目の場合）

※単位認定を申請しない場合は、本書式の1枚目のみ提出してください。

※私費留学の場合は、書類提出のほかに単位数により定められた単位認定料の支払いが必要です。

申請する科目について、特定の系列／群・トラックへの認定を希望する場合は、以下に希望する認定先、およびその認定先へ認定しうると考える根拠を記載してください。希望は参考にはしますが、必ず希望通りに算入されるとはかぎりません。
(商学部の特定の科目と共通点がある、という場合は、その科目のシラバス等も添付してください。)

① MKT333 Advertising Literacy

早稲田大学商学部「広告論」の授業概要にある「広告が消費者に与える影響、広告による経済効果」など同様の講義内容であったことから「広告論」が設置されている「マーケティング・国際ビジネストラック」に算入を希望します。

(あくまで記入例です。算入先の参考ではありませんのでご注意ください。)

【担当教務使用欄】

仮判定日	20 年 月 日	担当教務サイン	
------	----------	---------	--

No.	留学先			早稲田大学商学部(認定)※事務所使用欄				
	履修科目名称 (正式科目名/英語/省略不可)	授業時間(分×回)	成績	系列/群・トラックなど	単	証	オン	
		ECTS 単位数	オンライン 授業回数					
①	MKT333 Advertising Literacy	90分×15回=1350分 (ECTSの場合記入不要)	成績 B	外国語				
		____ECTS	0回 (全__回)	専門教育				
②	FINA3020 International Finance	90分×20回=1800分 (ECTSの場合記入不要)	成績 A	外国語				
		____ECTS	3回 (全15回)	専門教育				
③		____分 (ECTSの場合記入不要)	成績	総合教育				
④		____分 (ECTSの場合記入不要)	成績	外国語	英語	I・II(必・選)	P	
		____ECTS	____回 (全__回)	専門教育	その他	I・II(必・選)		
⑤		____分 (ECTSの場合記入不要)	成績	総合教育	英語	I・II(必・選)	P	
		____ECTS	____回 (全__回)	専門教育	その他	I・II(必・選)		
⑥		____分 (ECTSの場合記入不要)	成績	総合教育	英語	I・II(必・選)	P	
		____ECTS	____回 (全__回)	専門教育	その他	I・II(必・選)		
⑦		____分 (ECTSの場合記入不要)	成績	総合教育	英語	I・II(必・選)	P	
		____ECTS	____回 (全__回)	専門教育	その他	I・II(必・選)		
⑧		____分 (ECTSの場合記入不要)	成績	総合教育	英語	I・II(必・選)	P	
		____ECTS	____回 (全__回)	専門教育	その他	I・II(必・選)		
⑨		____分 (ECTSの場合記入不要)	成績	総合教育	英語	I・II(必・選)	P	
		____ECTS	____回 (全__回)	専門教育	その他	I・II(必・選)		
⑩		____分 (ECTSの場合記入不要)	成績	総合教育	英語	I・II(必・選)	P	
		____ECTS	____回 (全__回)	専門教育	その他	I・II(必・選)		

シラバスの「授業時間〇分」と「授業回数■回が記載されている部分 (Course Schedule)」に蛍光ペンでハイライトして根拠書類として提出。試験時間が普段の授業時間と異なる場合は、別途根拠書類を提出する。

オンライン授業回数を記載する。半数以上対面の場合は対面科目、半数以上オンラインの場合は、オンライン科目として計上されます。

どの科目のシラバスかわかるように、科目 No.を成績証明書、シラバス、時間割に記載する。

科目名の前に成績証明書通りにコード (FINA3020) も必ず入れる。